

【様式1】

概要書

<p>研究名</p>	<p>手漕ぎトロッコの安全運用を目的とした改良等について</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>大館市(観光交流施設秋田犬の里)</p>
<p>研究の概要</p>	<p>平成30年度より、「秋田犬の里」の敷地内にある旧小坂鉄道の廃線を利用した遊具として「手漕ぎトロッコ」を設置する研究を、大館市(観光交流施設秋田犬の里)と共同で取組んできた。</p> <p>令和元年度末に2機が完成し、試験的な走行を行った結果、1号機にハンドルが重い、走行スピードが遅い、回転式ハンドルの安全性などの不具合、問題点が発生した。これらを改善し、2号機も含めブレーキ制御の向上、走行時の軋みや歪み、衝撃によるボルトの緩み防止など、来館したお客様に長期にわたり、安全で安心して喜んで遊んでもらえることを目的として改良を加えた。</p> <p>4月末から実際の運行が開始されているが、実走後の検証は未定である。搬入後、試験的に走行した結果、以下の感想があげられた。1号機、2号機とも操作方法を同じにしたことにより、走行スピードの違いによるレール上での停滞もなく、スムーズな運行が可能となった。改良前に比べ、ハンドル操作が軽くなった。ハンドルから伝わる衝撃も小さく、組付け部分のボルトの緩みも見られなかった。走行自体に軽快感がある。ブレーキの利き具合も向上している。また、ブレーキハンドルにロック機能が付いているので停車時に機体を固定でき、乗り降りも安全に行うことができる。</p> <p>以上の点から、来館したお客様に安全な運行を楽しんでもらえると考えられる。</p>